

きんもくせい

編集目標 人間尊重の教育を求めて

平成25年 学校教育だより

May 5 第317号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会
発行・埼玉県富士見市教育委員会
電話・049-251-2711 (内線622)



手をあげてわたりましょう ～交通安全教室～

写真提供／水谷小学校

大いちょう

鶴瀬小学校 六年

池端 健

大いちょうの木は、校舎を

見守っている

春には若葉を付けて

夏にはたくさんの葉に

おおわれて

秋には葉が黄色くなって

銀なんの実を付けて

冬には葉も落ちて

変わりに雪を少し積もらせて

やがて雪は溶けて

また春がくる

大いちょうの木はいつも

見守っている

富士見市教育振興基本計画を策定しました

本市教育委員会は、人間尊重を基本理念として、市民一人ひとりが生命を大切にし、思いやりのある豊かな人間性と創造性をはぐくむ教育行政を進めています。今後さらに、総合的・計画的に推進するため、本市がめざす教育の基本的な方針と施策を明らかにした「富士見市教育振興基本計画」を策定しました。この計画は、児童生徒の保護者や地域団体の代表などさまざまな教育の場で活動している方や公募委員で構成した教育振興基本計画市民検討会議で協議を重ね、公開の教育懇談会やパブリックコメントなどを経て、市民の皆さんのご意見を参考に、国や県の教育振興基本計画を踏まえ策定したものです。学校教育の内容を中心に、その概要をお知らせします。(詳細は、市ホームページでご覧になれます)

問合せ／教育政策課 内611

基本理念

「学びあい 人がつながり 一人ひとりが輝く 富士見の教育」

子どもから大人まで、それぞれの世代が、学びあいを通して、人と人とのつながりを持ち、ともに励ましあい、高めあい、支えあう人間関係をつくり、一人ひとりが輝く富士見市の教育をめざします。



一人ひとりが輝く の教育

学びあい 人がつながり 富士見

平成25年度の主な取組み

- 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導による学力の育成

確かな学力の定着と一人ひとりに寄り添った指導を充実するため、小学校の基礎学力定着支援員を継続します。新たに中学校へ学習支援員を配置します。
- 人との交流や感動体験を通じた豊かな心の育成

いじめの予防、早期発見と対応のため、きめ細やかな相談活動を実施します。また、

心のこもった卒業式

元勝瀬中学校教諭 久保木 みどり

勝瀬中学校では、三月十五日(金)に荘厳な雰囲気の中にも温かみのある「第33回卒業証書授与式」が行われました。三年前に入学してきたときには、まだ身体も小さく幼さの残る生徒たちが、今では身長も伸び、すっかり成長した行動力と歌唱力を出し切って、担任の教師の涙を誘う場面が多く見られました。教師と生徒たちが学級の絆や学年を超えて学校全体をリードした卒業式でした。はやぶさ学級からの卒業生が、交流学級に加わって、楽しんで入場しました。そして大きな声で卒業生呼名に返事をし、思いを込めて合唱に参加していました。私たち教師は、「ノーマライゼーション」の精神に基づき、

めざす市民像

基本理念の実現に向けて富士見市がめざす市民像を次のように掲げます。

- ☆生涯にわたって学び、考え、行動し、心豊かに生きる人
- ☆学びあいから交流の輪を広げ、信頼しあい、地域の絆をはぐくむ人
- ☆学びの成果を生かして、自ら社会に参加し、郷土の未来を拓く人

南畑小伝統の鼓笛隊



南畑小学校 6年 松尾 実莉

南畑小学校では、毎年6年生になると鼓笛隊を引きつぎます。わたしたちは第52代目です。鼓笛隊のパートは、大太鼓などの打楽器、コルネットなどの金管楽器、他にも、バトンや指揮があります。私のパートは主指揮です。主指揮は、演奏の中心になり、みんなを引っばっていかなくてはなりません。これからいろいろなイベントに出演するので、一生懸命にがんばっていきたいです。みんなで力を合わせて演奏すると、とても楽しいので、たくさん練習して今よりもっと上手になりたいです。そして、たくさんの人に「かっこいいなあ」と言われるようになります。



基本方針

- I 学びあい、高めあい、夢と希望をはぐくむ教育の推進
- II 学びあう地域社会をめざす教育の推進
- III 組織の総合力を生かした教育の推進

基本目標

- 1 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導による学力の育成
- 2 人との交流や感動体験を通じた豊かな心の育成
- 3 自らの健康・安全を守る資質・能力と健やかな体の育成
- 4 地域の教育力を生かし教育効果を高める学校教育の推進

○地域の教育力を生かし教育効果を高める学校教育の推進(学校施設・設備の整備)
安全で快適な教育環境の整備に向け、水谷小学校、針ヶ谷小学校、富士見特別支援学校の大規模改修工事、トイレの洋式化改修工事などを計画的に進めます。

○自らの健康・安全を守る資質・能力と健やかな体の育成
水谷東小学校と水谷中学校が連携し、家庭・地域ぐるみで昨年度から取り組んでいる防災教育を平成25年度も継続し、自己の安全と命を守るため、主体的に判断し行動できる児童生徒の育成をめざします。

○学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
《学校教育では…》
学校応援団をはじめとする保護者や地域の方々にご支援をいただき、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を推進していきます。

○学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
《学校教育では…》
学校応援団をはじめとする保護者や地域の方々にご支援をいただき、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を推進していきます。

○学校・家庭・地域が一体となった教育の推進
《学校教育では…》
学校応援団をはじめとする保護者や地域の方々にご支援をいただき、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を推進していきます。

《社会教育では…》
少子化や核家族化の中で、子育て中の親の不安感や孤立感を軽減するため、新入学児の保護者を対象に「子育て教室」を開設します。また、各公民館で子育てサロンや講演会など取組みを進めます。



《社会教育では…》
少子化や核家族化の中で、子育て中の親の不安感や孤立感を軽減するため、新入学児の保護者を対象に「子育て教室」を開設します。また、各公民館で子育てサロンや講演会など取組みを進めます。

子どもにとっての父親とは

東中学校平成二十四年度PTA会長 須田 健二

私には4人の子どもがいます。娘は成人しましたが、3人の息子は中学生と小学生の元気盛りで、父親の出番がたくさんあります。

けんかしてガラスを割ったり、庭の木を切ったり、度を過ぎて暴れることがあります。時には棒を持って追いかけてますこともあります。こんな時の子どもたちの逃げ足の速いこと速いこと、徒競走なら間違いないです。子どもたちも、こんな父親に一目おいているような気がします。「地震、雷、火事、おやじ」と、怖いものの代名詞がありました。この頃、おやじの権威が落ちていたように感じますが、私は「だめなものだめ。」といえる怖いおやじでいたいと思います。

昨年の夏、伊豆に旅行に行く機会がありました。3人の息子を連れて海釣りに行った帰り際、妻が「小さい魚は逃がしてあげようね。」と子どもたちに声をかけたら、子どもたちは素直にうなずき、小



さな魚を逃がしていました。そんな子どもたちの姿を見て、笑みを浮かべている自分がいきました。私は、生きる力をはぐくむということ、何気ない日常の家庭の中で、母親が子どもに教え、父親はそれを見守り、横道にそれたらそれを直す、そんな積み重ねを行うことではないかと思っています。今後も、子どもたちに愛情を持ちながら、体力のある限り取っ組み合っついていきます。

嫌だったらなんでも簡単に放り出すような子にはなつてほしくなかったのです。どうして嫌なのか、どうしたら解決するのか、きちんと自分で考えて自分の言葉で伝えてほしいのです。その晩、彼女は父親に、立派に自分の言葉で気持ちを言えたと満足げでした。そして、次の習い事を自分で決めて、習いたい理由を説明し新たな習い事を始めることになったのです。日常生活の中で小さな決断が必要な場面が多々あると思



います。間違った考え方や物の見方をしないように、子どもが自分で考え実行できるようにサポートできる親でありたいと思います。

毎日の積み重ねこそ生きる力

富士見特別支援学校

「おはようございます。」毎朝、小さな昇降口は大きな挨拶の音が飛び交い、活気あふれた一日がスタートします。自分で上ばき履きかえて全一人で行動していく生徒がいれば、あらゆる場面で介助が必要な児童もいます。

「更衣室で着替える。」「トイレに行く。」「健康観察を保健室に届ける。」「給食の献立を事務室にとりに行く。」「朝の

運動をする。」

教室では発達段階に応じた授業が展開され、あつという間に午前中が終わり、皆の大好きな給食です。

平凡に思える毎日が、実は発見の連続。「おはしで食事ができるようになった。」「苦手の野菜が食べられた。」「はぶらして歯を磨けるようになった。」「掃で掃除ができるようになった。」「ボタンを自分で

生きる力をはぐくむ

針ヶ谷小学校 教務主任 阿部 和彦

今、学校における一番の課題は、児童に生きる力をはぐくむことです。中でも、学力の向上は最重要課題です。

そこで、針ヶ谷小では算数科で新しい取り組みをはじめました。算数を通して身に付けさせたい力は、合理的・理論的に物事を考えることができる力です。この力をはぐくむために算数の学習システムをつくりました。6年生は毎日1時間目が算数の授業、5

年生は4時間目と、学年毎に帯状日課にしました。次に2学級を3つの学習グループに編成し、必要に応じて特別支援学級に校内通級することや基礎学力定着支援員等による個別支援を受けることができシステムとしました。

全ての子どものできるようになりたい！」を大切に、「わかった!」「できた!」を応援します。

生きる力の未成熟が、自立



する力を弱め、不登校や二下、引きこもりを増加させると指摘する専門家もいます。針ヶ谷小は、こうした問題を基本から考えて取り組んでいきたいと思っています。

小さな決断

諏訪小学校PTA副会長 榊原 眞奈美

我が家では習い事の見直しを子どもと一緒に考えていきます。

幼稚園の頃、音楽に親しんでもらいたいと、音楽教室に通っていました。身体をリズムに合わせて動かしていたころはよかったです。楽器の前に座ると、睡魔に襲われ心地よい眠りにつく子どもをみて、今がその時ではないなと感じました。子どもとも相

談して、「あなたが眠くてできないなら辞めてもいいと思うよ。」と、子どもにとって初めての辞めるという選択肢があることを教えました。すると、「音楽は好きだけど眠くなる。」との返答がありました。そこで私は、「じゃあ辞めよう。」とは言わずに、自分の言葉で父親にどうして辞めたいのかを説明して許可をもらう必要があることを伝えました。

教育課題特集

生きる力をはぐくむ

～学校・家庭・地域から～

給食を通して心をはぐくむ

給食センター栄養士 西塚 千春

普段は給食センターに勤務をしていますが、昨年度末に所属校の全学級で給食指導を行い、子どもたちと一緒に給食を食べました。

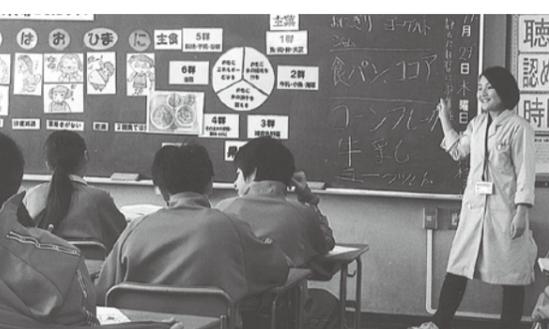
給食の時間に、係の児童がクイズを出す学級がよくあります。私が訪問した学級の中には、単なるなぞなぞなどではなく、食べ物の栄養価に関する問題を出している学級がありました。給食という食に関わる時間に、さらに食への関心が高まるような活動を自発的に行っている学級があることを知り、食の大切さが子どもたちにも広まっていることを感じ、嬉しく思いました。

先生との会話を楽しんでいる子どもたちがいます。給食の時間は、子どもたちにとって楽しみみの時間になっているだけでなく、食に関する力や社会性をはぐくみ、心を豊かにするために貴重な時間であると考えます。十分な時間を取り、ゆつくりと食事をするのが難しいとされる給食時間ですが、子どもたちの健やかな成長のためにも、私たち大人が支えてあげたいものです。



「継続は力なり」そんな言葉を実感させてくれるすばらしい学校です。

「今日は全部食べられたよ。」「〇〇がおいしかったよ。」など、嬉しそうに話してくれる子どもたちがいます。また、給食時間に友だちや





つるせ台小

七輪でお餅を焼いたよ

社会科の学習で、昔の人々のくらしについて学んだ3年生。そこで、七輪での餅焼きにチャレンジ!!火加減が難しく大変でしたが餅がふくらむと大喜び。自分達でひいたきな粉につけておいしく食べました。



鶴瀬小

交通安全教室

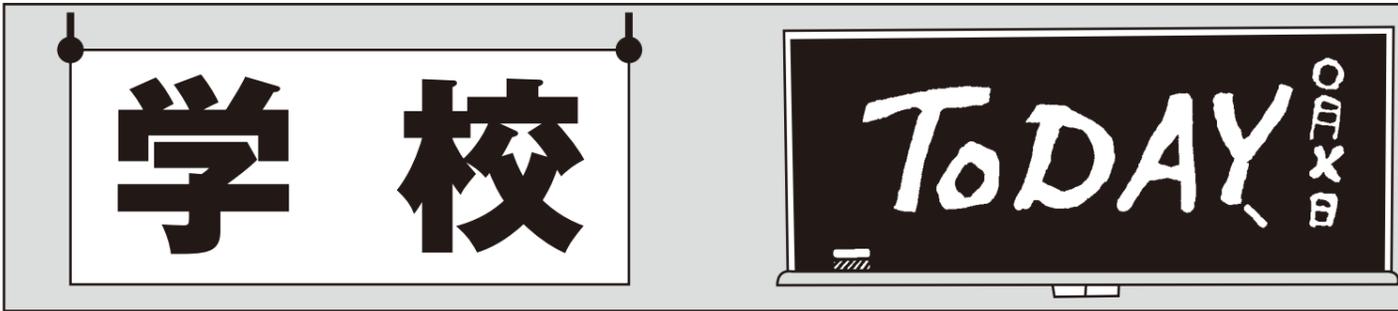
「自分の命は自分で守る!」を合言葉に1・2年生は、横断歩道の正しい渡り方について学習しました。「右よし!左よし!右よし!信号よし!」と自分の目で確認して、手をピンと挙げて横断歩道を渡ります。



南畑小

朝の時間の机ふき

本年度から、朝の時間を利用して自分の机を水拭きぞうきんで拭いています。きれいな机で授業を始められることで、1日をさわやかに過ごせ、また、ぞうきを強く絞ることで、握力アップも狙います。



水谷中

水谷東地域「非常災害対応訓練」に参加

避難時に支援が必要な人たちがリアカーや担架、車椅子に乗せて避難しました。「中学生は困っている人を助ける立場にある」という意識が高まりました。



水谷小

気持ちのよいあいさつ

おおきな声で はきはきと よい笑顔で うれしくなるように「おはようございます」を合言葉に、あいさつ運動に取り組んでいます。



ふじみ野小

6年生の初仕事

4月4日。新6年生が準備登校をして新学期の準備をしました。掃除をしたり、1年生の教室作りをしたりと、学校の代表としての一歩を踏み出しました。

入学、進級おめでとう。新たな期待に胸をいっぱいにして、子どもたちは、新しい教室に入ってきたことだろう。学校では、その思いを大切に、新学期の準備を心を込めて行い、四月八日を迎えた。この一年間で、子どもたちを大きく成長させたい。そのために、子どもの実態に応じて、計画を立て、家庭・地域と手を携えて、取り組んでいく。笑顔であいさつする子どもたち、真剣に活動に取り組む子どもたち。そんな生きいきとした子どもたちの姿をたくさん伝えていきたい。



本郷中

頑張っています!!『ピッカピカの1年生』

4月に新入生を迎え、本郷中学校も新たなスタートを切りました。本格的に授業も始まり、先生も生徒もみんな頑張っています。

今日は初めての保護者会、先生の方が緊張している?先生も『ピッカピカの1年生』



富士見台中

新入生ワクワク、部活動オリエンテーション

新入生にとって、中学校での楽しみの一つは部活動。15の部活動紹介が4月12日に行われました。各部とも趣向をこらした発表で、新入生も食い入る様に見ていました。



富士見特別支援学校

大きく育ちますように!!

5年1組での生活単元学習の授業の様子です。これから、野菜の苗を育てるために、良い土づくりを話し合いました。みんなで真剣に話を聞くことができました。

おすすめの本

「教室はまちがうところだ」子どもの未来社
 蒔田 晋治・作
 長谷川知子・絵

教室はまちがうところだ
 みんなどしどし手を上げて
 まちがった意見を言おうじゃないか
 まちがった答えをいおうじゃないか

元教員、蒔田氏の詩を味わってください。

【三学期】 一月八日から三月七日
 始業式、避難訓練、餅つき、感謝の集い、
 通室証書授与式等

以上のような体験活動の他、お子さんの状態や気持ちを十分に配慮しながら徐々に学校復帰に向けた様々な取組を行っています。

通室を希望する方は、担任の先生に申し出ていただくか、本室まで直接ご連絡ください。

(問合せ) 富士見市教育相談室
 TEL 049-253-1531
 (担当者) 指導員 深田・林

II 市教育相談室より II

「教育相談Q&A」

Q 「あすなろ」ってどんな教室?

A 「あすなろ」とは、富士見市教育相談室(富士見特別支援学校三階)に設置されている適応指導教室の名称です。この教室では、学校へ行きたいけれど行けない市内の市立小・中学校に在籍する不登校児童生徒の、自立と学校復帰を支援しています。

「あすなろ」は、午前九時から正午まで開室していますから、そのお子さんの状態に応じて自由に利用することができます。等身大のありのままの居場所です。

「あすなろ」では、一人一人の不登校児童生徒の状態に合った通い方や過ごし方を本人の意思を尊重し、保護者の方ともじっくりと時間をかけて一緒に考えていきます。

また、「あすなろ」では、様々な体験活動も行っています。

〈開室期間と主な体験活動〉

【一学期】 四月八日から七月五日
 始業式、芋苗植え、田植え、難波田城公園内古民家での宿泊体験活動、学校給食センターでの昼食会、終業式等

【二学期】 八月二六日から十二月十三日
 始業式、稲刈り、豊島園への遠足、おにぎりパーティー、芋掘り、本室での宿泊体験活動、終業式等

教育委員会だより

《平成25年度富士見市教育行政方針》

- I 学びあい、高めあい、夢と希望をはぐくむ教育の推進
 - 1 児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導による学力の育成
 - 2 人との交流や感動体験を通じた豊かな心の育成
 - 3 自ら健康・安全を守る資質・能力と健やかな体の育成
 - 4 地域の教育力を生かし教育効果を高める学校教育の推進
- II 学びあう地域社会をめざす教育の推進
 - 1 家庭・地域の教育力の向上
 - 2 生涯にわたる学習機会の提供と学びのネットワークの推進
 - 3 学びあう地域社会を創る活動の推進
 - 4 暮らしまちづくりに役立つ読書活動の推進
 - 5 郷土遺産の継承と文化芸術の振興
 - 6 誰もが親しめる生涯スポーツの推進
- III 組織の総合力を生かした教育の推進

平成25年度の学校教育だより「きんもくせい」の編集委員の先生方をお知らせします。今年度も富士見市の教育理念「人間尊重」の教育を基本とし、その実現を求めて編集に携わっていただきます。よろしくお願いたします。

- 《編集委員長》 忽滑谷美恵子 (水谷東小学校校長)
- 《編集副委員長》 山崎美晴 (関沢小学校教頭)
- 《編集委員》 松波徳美 (水谷小学校主幹教諭)
- 富田香織 (勝瀬小学校教諭)
- 福井智子 (富士見台中学校教諭)
- 高原剛 (水谷中学校教諭)
- 田島弘 (富士見特別支援学校教諭)

☆運動会(体育祭)♪音楽会(合唱祭)等の日程

学校名	運動会等	雨天の場合	♪音楽会等
鶴瀬小学校	9月21日(土)	9月26日(木)	11月2日(土)
水谷小学校	5月25日(土)	5月28日(火)	11月2日(土)
南畑小学校	9月21日(土)	9月25日(水)	11月5日(火)
関沢小学校	9月21日(土)	9月25日(水)	11月8日(金)
勝瀬小学校	5月26日(日)	5月28日(火)	11月1日(金)
水谷東小学校	9月28日(土)	10月1日(火)	11月2日(土)
諏訪小学校	5月18日(土)	5月22日(水)	11月9日(土)
みずほ台小学校	9月28日(土)	9月29日(日)	11月13日(水)
針ヶ谷小学校	5月25日(土)	5月28日(火)	11月2日(土)
ふじみ野小学校	6月1日(土)	6月2日(日)	11月2日(土)
つるせ台小学校	9月28日(土)	9月29日(日)	11月2日(土)
富士見台中学校	5月19日(日)	5月21日(火)	10月31日(木)
本郷中学校	5月18日(土)	5月21日(火)	10月30日(水)
東中学校	5月25日(土)	5月29日(水)	11月1日(金)
西中学校	5月18日(土)	5月20日(月)	10月29日(火)
勝瀬中学校	5月25日(土)	5月29日(水)	10月28日(月)
水谷中学校	9月14日(土)	9月17日(火)	11月13日(水)
富士見特別支援学校	5月25日(土)	5月26日(日)	11月16日(土)

《お詫びと訂正》3月号(316号)の表紙写真の「写真提供 水谷小学校」は「水谷東小学校」、「わかる授業」のリード文「(話す・聞く)」は「(話す・書く)」の誤りでしたので、ここに訂正し、お詫びします。



「先生、一年二組の教室はどこにありますか。」
自分の体よりも大きな鞆を背負って教室を探す姿。自分の下駄箱の場所が分からず、とまど

う姿。慣れない制服に、恥ずかしいような、誇らしいような表情。全てが初々しくて愛らしい。四月八日、西中学校に入学した、一年生との出会いだった。
入学式を終えて、私が担任す

初々しさが愛らしい
西中学校教諭 新井 朱夏
「一年二組では一人一人に決意表明をしてもらった。花型の画用紙にそれぞれ頑張りたいことを書き、それを大きな紙で作った木に貼った。その花には「部活を頑張りたい」、「勉強を頑張

る一年二組では一人一人に決意表明をしてもらった。花型の画用紙にそれぞれ頑張りたいことを書き、それを大きな紙で作った木に貼った。その花には「部活を頑張りたい」、「勉強を頑張りたい。給食の準備は学年で一番遅

いが、食べるのはどこよりも早い。他のクラスが制服でいる中、なぜか朝からジャージに着替えやる気満々。清掃は自分たちで気が付いたことを積極的にやってくれる。始業の礼が美しい。そして何よりも明るく元気なクラスだ。

先日、一時間半にも及ぶ討論の末、学級目標が決まった。「何事も全力で仲間と協力し、絆が深まるクラス」だ。全身でパワーを表現する皆に期待している。まだ幕は開いたばかりだ。

編集日記

「ならぬことはならぬ」会津藩の子弟を教育する仕の掟の最後の一説である。現在放映中の大河ドラマ「八重の桜」をはじめ、学校等様々な場面においても取り上げられている。埼玉県の子どもに身につけさせたい「3内容6項目」でも礼儀正しく人と接すること、約束やきまりを守ること等の大切さを「規律ある態度」の達成目標で掲げている。

子どもが「共に学ぼうとしたり学習環境を整えたりする」とことで社会の一員として時と場に応じて自ら行動し責任がとれることにつながる。

先日、高校生の意識調査で日本は「偉くなりたいたいと思わない」がアメリカ・韓国・中国の4カ国の中で特に高いことが分かった。その理由の「責任がとれない」が気になる。

さて、手本となるべき大人が手本となれているであろうか。自分さえよければよい、真摯に努力することの軽視、責任感の欠如などは、大人社会の問題でもある。大人に起因する問題が子どもにも問題と受け止めていては、いつまでも問題は解決しないであろう。

規律ある態度の育成は豊かな心を育て、命を大切に思うやりと意欲的な人材の育成につながる。大人も子どもも「ならぬものはならぬ」のです。
(忽滑谷)